

修学旅行報告

2 学年会

1 はじめに

ここ奄美では、近年修学旅行を実施しない学校もあるが、本校ではここ数年関西方面の修学旅行を実施している。本校設立当初の修学旅行は、古仁屋から名瀬まで歩いて実施していたらしい。当時はトンネルも開通していなかったもので、途中住用で一泊して名瀬まで行ったそうである。昭和27年におがみ山で撮られた修学旅行の記念写真には当時の古仁屋高校生が生き生きと写っていた。やはり修学旅行はいつの時代も学生生活を彩る最高のイベントである。どこに行くか、何を学ぶかということも大事ではあるが、何よりも仲間との絆を深められることが修学旅行の意義である。今年は大阪・奈良・京都を研修場所とし、3泊4日のスケジュールで、瀬戸内町からの支援も頂き、恵まれた条件で旅行を実施できた。その中で生徒達が何を見て、どのように感じたか、旅行の様子を生徒の感想を交えながら報告する。

2 行 程

日次	月日(曜日)	発着等	交通機関	日 程	宿 泊
1	12 / 1 (火)	古仁屋発 空港着 奄美発 伊丹着 伊丹発 奈良着 奈良発 京都着	バス 飛行機 バス バス	8:20 古仁屋高等学校発 11:00 奄美空港着 12:00 奄美空港発 13:25 伊丹空港着 14:00 伊丹空港発 15:00 奈良公園着 17:00 奈良公園発 18:30 民宿(大原の里)着	京都泊
2	12 / 2 (水)	大阪発 京都着 京都発 大阪着	バス 地下鉄・バス バス	8:00 民宿(大原の里)発 9:15 京都駅着 京都市内自主研修 17:00 京都駅発 18:30 民宿(大原の里)着	京都泊
3	12 / 3 (木)	大阪発 大阪着 大阪着	バス バス	8:00 民宿(大原の里)発 8:30 琵琶湖着 9:30 琵琶湖発 10:30 ユニバーサルスタジオジャパン着 18:00 ユニバーサルスタジオジャパン発 18:30 ホテル(プラザオーサカ)着	大阪泊
4	12 / 4 (金)	大阪発 伊丹着 伊丹発 奄美着 奄美発 古仁屋着	バス 飛行機 バス	8:00 ホテル(プラザオーサカ)発 8:30 伊丹空港着 9:30 伊丹空港発 11:20 奄美空港着 12:00 奄美空港発 12:10 昼食 15:10 古仁屋高等学校着	

3 旅行の記録

12月1日（火）

いよいよ出発の日。朝8時に集合。さすがに遅刻はなく、時間をしっかり守っていた。体調も良さそうだ。玄関前での出発式を終えてバスに乗り込み、先生方に見送られ定刻通り出発した。12月になっても暖かい奄美大島から大阪へ。その気温差を少し心配したが、生徒達は元気だった。

（生徒Fの感想「伊丹空港について外に出た瞬間に寒くてびっくりしました。」）（生徒Mの感想「奄美とは違って冷たい風が肌に当たると痛く感じました。」）（生徒Tの感想「いく前はとても寒いと思っていましたが、意外と大丈夫でした。」）



空港でバスに乗り込み、奈良公園へ向かった。賑やかな大阪の街を進み、長いトンネルを抜けて奈良に入ると、町並みはだいぶ落ち着き、古都奈良の雰囲気に。奈良公園ではたくさんの鹿が生徒たちを歓迎してくれた。（生徒Kの感想「鹿はいたるところにいてうんこをよけるのがたいへんでした。」）公園内では6班に分かれ、専門のガイドさんの案内で観光。どのガイドさんも奈良公園の隅から隅まで時間いっぱい熱心

に説明をしてくださった。（生徒Tの感想「大仏の頭のつぶつぶの大きさが人の頭と同じくらいの大きさだと聞いてとても驚きました。」）（生徒Wの感想「教科書でしか見たことがなかったものを実際に近くで見ることができて、来てよかったと思いました。」）「大仏さんの鼻の穴くぐり」に挑戦した生徒もいた。



1日目は、京都の奥座敷大原にある「大原の里」に宿泊した。バスを降りて大原の里まで徒歩で10分ほど。奄美では経験できない寒さのなかをちょっとした散歩。（生徒Oの感想「大原の里は山奥だったのでバスを降りた瞬間、凍りつきそうだった。」）民宿についてすぐの夕食は大原の里名物のみそ鍋だった。いつもより早く昼食をとっていたので、みんなお腹がペコペコ、おまけに体も冷え冷え。みんなで楽しくいただいたみそ鍋は大好評だった。（生徒Tの感想「夜ご飯の

みそ鍋はすごくおいしかったです。」）夕食後、もう一つのお楽しみ露天風呂。（（生徒Mの感想「大原の里、とてもきれいでご飯もおいしくてお風呂も気持ちよくて落ち着きました。」））

12月2日（水）

2日目。朝6時起床と早かったにも関わらず、全員時間通りに朝食会場に。体調不良者もなく、予定通り京都市内自主研修に出発。京都駅に着き各班に分かれていよいよ研修開始。出発はしたものの、京都駅で30分以上迷い結局タクシーで移動した班もあったようだ。

（生徒Kの感想「島には地下鉄とかJRとかなにも通ってないので電車に乗るだけで体力を使って疲労感がすごかったです。」）（生徒Aの感想「みんなの念願のスタバに行ってお茶タイムもできました。」）（生徒のT感想「伏見稲荷大社は、千本鳥居が長くて途中で折り返したけれど、とても美しかったです。」）



（生徒のK感想「映画村は昔にタイムスリップしたみたいでした。」）（生徒のT感想「わらび餅とみたらし団子を紅葉の中で食べられたので良かったです。」）（生徒のI感想「清水寺に行くとき、中国人に道案内もできて良かったです。」）（生徒のK感想「平日なのに観光の人たちがたくさんいたのでびっくりしました。」）集合は京都駅前に17時となっていた。16時半頃から、生徒たちが次々に帰ってきた。どの生徒もたくさんのお土産の袋を抱えていた。17時を若干過ぎた生徒もいたが、全員無事に研修を終えることができた。それぞれに思い出を作った一日であった。



2日目の宿も、京都大原の民宿「大原の里」。夕食はすき焼き。この日の鍋も大好評だった。（生徒のS感想「夜ご飯がすき焼きだったのでとてもうれしかったです。」）（生徒のH感想「夜ご飯のすき焼きとてもおいしかったです。」）（生徒のH感想「部屋ではみんなでトランプをして盛り上がりました。」）

12月3日（木）

3日目。朝からあいにくの雨。雨の中を琵琶湖へ。琵琶湖近くの道の駅で写真撮影をし、天気が回復してくれることを願いながらUSJへ。生徒たちがこの旅の中でも特に楽しみにしていた場所。約7時間、たっぷり楽しんだ。（生徒Tの感想「US



Jに着く頃には雨がやんで晴れていたのとてもうれしかったです。」）（生徒Yの感想「スパイダーマンは予想以上に立体的すぎてメガネを外して目をつぶっていました。」）（生徒の感想「USJは楽しかったけど昼ごはんなどがとても高くて驚きました。」）（生徒Oの感想「夕方になるとイルミネ



ーションがきれいでUSJに住みたくなりました。」）

3日目の宿泊は大原の里とは対照的にネオン街にあるホテル、プラザオーサカ大阪。夕食は十三階のレストランで洋食のセットメニューだった。生徒達は皆旺盛な食欲を見せてくれた。（生徒Tの感想「十九階での食事は夜景がきれいに見えたのでおしゃれだなあと感じました。」）夕食後は、芸人さんによる関西弁講座、おもしろかった、楽しかったと大好評。（生徒Oの感想「関西弁講座がとてもおもしろくて疲れも吹っ飛んでいきました。」）また、関西に親戚がいる生徒たちは久しぶりの面会で顔がほころんでいた。（生徒Fの感想「夜は久しぶりに親戚に会い良い時間を過ごせました。」）

12月10日（金）

最終日。まだまだお土産を買い足りないという生徒たちの要望を受け、予定より早めに伊丹空港へ出発。しかし、事故による渋滞で買い物の時間は少し増えただけだった。それでも大急ぎで買い物を済ませ機上の人に。さすがに疲れがたまっていたようで、飛行機やバスの中では爆睡している生徒が多かった。（生徒Hの感想「帰りはバスでも飛行機でも疲れてずっと寝ていました。」）



（生徒Oの感想「帰りの飛行機はとても揺れてめっちゃめっちゃ怖かったです。」）修学旅行最後の食事はばしゃ山村で鶏飯。久しぶりのふるさとの味にみんな大満足。（生徒Sの感想「ばしゃ山村で食べた鶏飯は奄美に帰ってきた感じがして良かったです。」）そして予定より少し早く学校へ到着した。たくさんのお土産を抱えて元気に帰ってきた生徒たちを先生方が温かく迎えて下さった。（生徒Mの感想「学校について修学旅行が終わると悲しくなりました。」）



この4日間体調も崩さず、大きな事故もなく無事に過ごせたことが何よりだ。朝から夜までずっと一緒に行動し、それぞれが修学旅行を楽しみ、幸せそうだった。島の良さも再確認できた。

（生徒Hの感想「1番はありません。修学旅行中のすべての時間が思い出に深く残っています。」）

（生徒Yの感想「修学旅行の帰りはちょっと寂しかったけどやっぱり奄美がいいなと思いました。」）